

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん医療におけるリエゾン精神看護専門看護師へのニーズと看護実践
	研究目的	2007 年にがん対策基本法が制定され、治療の初期段階から身体的な苦痛だけでなく、精神心理的な苦痛に対する心のケアへの対策もすすめられている。当院では精神看護の専門看護師（リエゾン精神看護専門看護師）、がん患者さんの気持ちのつらさの相談窓口である「リエゾン看護師外来」を運営し、約 1000 名の患者さんが利用した。本研究は、リエゾン看護師外来を利用した患者さんの診療録から、利用者の特性や利用目的、リエゾン精神看護専門看護師へのニーズを明らかにすることを目的とする。また利用目的やニーズに対して、リエゾン精神看護専門看護師がどのような看護を提供したのかについても併せて明らかにすることを目的とする。
	研究対象者	2015 年 4 月から 2022 年 3 月までに当センターでリエゾン看護師外来を利用した患者さん。
	研究期間	西暦 2023 年 2 月 6 日～西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	谷島 和美
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	精神腫瘍科 さっぽろ香雪病院
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	関東学院大学看護学部 精神看護学領域 谷島和美 Tel : 045-786-7002 E-mail : kyajima@kanto-gakuin.ac.jp	